

## 1. 財団の運営

国において公益法人制度の抜本的な改革が進む中、公益性を有する当財団においても、必要なガバナンス・規律の確保等を通じ、適正かつ自律的な運営を図った。

### (1) 定例理事会の開催

収支予算・決算及び評議員の人事等、当財団の運営に係る事項を審議するため、下記のとおり定例理事会を開催した。

○定例理事会(2回)…平成18年6月19日、平成19年3月26日

### (2) 評議員会の開催

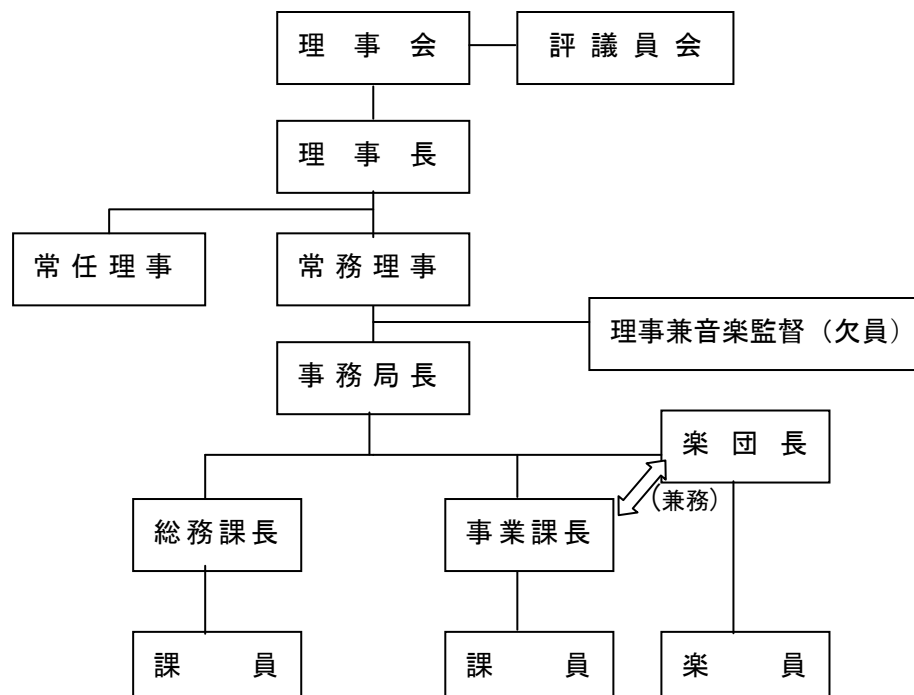
理事・監事の人事等、当財団の運営に係る事項を審議するため、下記のとおり評議員会を開催した。

○評議員会(3回)…平成18年4月1日、6月19日、平成19年3月26日

### (3) 組織

平成18年度は、下記組織体制により事業を実施した。

役員：12名（理事11名、監事1名）  
評議員：12名  
事務局職員：14名（プロパー6名、府派遣3名、民間派遣3名、特別嘱託員等2名）  
楽員：52名



## 2. 財団事業

大阪府における芸術、文化の振興を図り、ゆとりとうるおいに満ち、個性的で創造性に富んだ国際文化都市大阪づくりに寄与するため、管弦楽演奏等の音楽活動を中心とした下記文化事業に積極的に取り組んだ。

- (1) 管弦楽の演奏等を通じた音楽文化の振興…大阪センチュリー交響楽団運営事業
- (2) 舞台芸術文化の普及啓発…府民芸能・芸術鑑賞事業（半額鑑賞事業）
- (3) 文化施設の管理運営…服部緑地野外音楽堂等の管理運営受託事業

## 3. 財団資産の管理

財団の基本財産及び減価償却基金等の財産について、安全確実な方法により運用し、財団の財政基盤の充実に努めた。

## 4. 具体的な事業結果

### (1) 大阪センチュリー交響楽団の運営

府民の多様化、高度化する音楽ニーズに応え質の高い音楽鑑賞機会を提供するとともに国際文化都市大阪の文化的シンボルの一つとしての役割を果たすため、以下の基本理念に基づき大阪センチュリー交響楽団を運営した。また、現在の社会・経済情勢や大阪府行財政計画(案)に対応し、積極的な運営改革を進めた。

#### 《基本理念》

- 府民に親しまれ、府民の誇りとなるオーケストラを目指す。
- 芸術性の高い、我が国有数のオーケストを目指す。
- バロックから古典派の曲を中心に質の高い個性のある演奏活動を行う。

#### 《基本方向》

定期演奏会等自主公演の内容の充実を図ることにより集客に努めるとともに、府民のオーケストラとして社会貢献事業（パブリックサービス）にも積極的に取り組む。また、あらゆる機会をとらえて楽団のPRに努めるとともに、顧客に対するきめ細かなアプローチを積極的に行うことにより依頼公演をはじめとする事業収入の増加を図り、自立的経営の促進に努める。

#### 楽団組織

- 名 誉 指 揮 者 : ウリエル・セガル
- 首 席 指 揮 者 : 小 泉 和 裕
- ソロ・コンサートマスター: 川 崎 洋 介
- 首席客演コンサートマスター: 高 木 和 弘
- 客員コンサートマスター: 太 田 雅 音
- 編 成 : 2 管 1 0 型 ( 楽 員 定 数 5 6 名 )

## ① クラシック音楽の質の向上に向けた取組み

自主公演のプログラムの充実を図り、プロのオーケストラとしての演奏技術等の向上に積極的に取り組んだ。

### (ア) 定期演奏会（「ザ・シンフォニーホール」にて、年10回実施）

二都物語シリーズの第3回目として仙台フィルハーモニー管弦楽団との合同演奏(第110回)をはじめとし、ソロコンサートマスター川崎洋介(第116回)や盲目のピアニスト梯剛之(第115回)を独奏者とした公演、また、邦人指揮者として秋山和慶(第112回)、外山雄三(第113回)、若杉弘(第114回)など、多彩なゲストを迎えた。また、R・エリシュカ(第117回)、G・ボッセ(第118回)によるチェコ、ドイツ音楽の本格的な演奏は楽団の演奏技術向上に大きく資するものがあった。

### (イ) 特別演奏会

#### 《京都特別演奏会》

関西エリアでの知名度アップを図り、新たなセンチュリーファンを開拓するため、平成18年11月20日、第115回定期演奏会と同一内容で、京都コンサートホールにて実施した。

#### 《神戸特別演奏会》

ロベルト・シューマン没後150周年を記念して、平成18年9月30日、10月29日、11月21日の3日間、神戸新聞松方ホールにて実施した。また、この演奏は、ライブCDとしてNAM Iレーベルより発売された。

#### 《ハウスコンサート》

定期会員を対象とした「ハウスコンサート」を、平成19年3月31日、センチュリーオーケストラハウスにて実施した。

### (ウ) その他

新たな取組みとして、楽員企画によるアンサンブルコンサートを、センチュリーオーケストラハウスにおいて行った。(平成19年3月10日、17日、24日)

## ② 府民のオーケストラとしての社会貢献事業の取組み

公立オーケストラのサービスの一環として、広く一般府民を対象にした演奏会や、普段オーケストラに触れる機会の少ない府民を対象とした演奏会を開催した。

(ア) 家族で楽しむ野外演奏会

家族づれで気軽にオーケストラに触れる機会を提供するため、夏休み期間中の最終土曜日・日曜日(8月26日、27日)、服部緑地野外音楽堂において、「星空ファミリーコンサート」を開催した。クイズコーナーや指揮者コーナーなど参加型のコンサートとして定着してきており、平成18年度は、初めて小泉和裕首席指揮者が「星空ファミリーコンサート」で指揮したこともあって、過去最高の入場者を記録した平成17年度をさらに上回った。また、大阪府立大学交響楽団をゲストに迎え、合同演奏を行った。

・8月26日…1,925名      ・8月27日…1,532名

(イ) 青少年を対象とするオーケストラ体感コンサート

センチュリー・オーケストラハウスを会場として、児童・生徒たちが迫力あるオーケストラの生演奏を体験するだけでなく、楽団員とともに楽器に触れ、音を出し、オーケストラの中で演奏を聴き、オーケストラを指揮することができる「Touch the Orchestra」を、13回開催した。

なお、3月31日は、日本オーケストラ連盟が3月31日を「オーケストラの日」と制定し、加盟する全国のオーケストラがそれぞれの地域で様々なイベントを開催することとした一環として、小泉和裕指揮、ベートーヴェン「運命」により府民を対象として開催した。

・6月20日、21日(計4回)  
・11月9日、10日(計4回)  
・2月1日、2日(計4回)  
・3月31日(計1回) ※オーケストラの日企画

(ウ) 養護学校諸学校の児童・生徒を対象とした音楽鑑賞機会の提供

平成19年1月24日、大阪府立養護諸学校7校(和泉養護、岸和田養護、堺養護、泉北養護、富田林養護、守口養護、八尾養護)から約1,060名の児童・生徒・教職員を国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)に招いた。

(エ) 府立病院コンサート

府立の病院に入院・通院している患者やその家族を対象に、音楽演奏によるやすらぎと感動を提供するため、5つの府立病院のロビー等において、アンサンブル・コンサートを開催した。

・母子保健総合医療センター …平成18年5月29日(弦楽四重奏)  
・精神医療センター …平成18年5月29日(金管五重奏)  
・成人病センター …平成18年5月30日(弦楽四重奏)  
・急性期・総合医療センター …平成18年5月30日(木管五重奏)  
・呼吸器・アレルギー医療センター…平成18年5月31日(弦楽四重奏)

### ③ 音楽事務所や公立ホール等からの依頼による公演

音楽事務所や音楽ホール、公立ホール、企業等からの出演依頼により、52回の公演を行った。

#### ※ 公演実績（15年度～18年度）

単位：回数

区 分	15年度	16年度	17年度	18年度	増減(⑱-⑰)	
① 自主公演	27	35	38	40	2	
	フルオーケストラ	23	27	31	31	0
	アンサンブル	4	8	7	9	2
② 依頼公演	63	61	68	52	▲16	
	フルオーケストラ	51	52	59	48	▲11
	アンサンブル	12	9	9	4	▲5
③ 文化庁委託公演	4	0	0	0	0	
総公演数(①+②+③)	94	96	106	92	▲14	

### ④ レクチャー・ワークショップ型事業の取組み

#### (ア) 大学生インターンシップ生の受入れ及び中学生サマーセミナーの実施

楽団運営に係る人材を育成するため、大阪音楽大学（夏期）及び大阪芸術大学（春期）からインターンシップ生を受け入れた。

また、大阪府教育委員会と共催で、府内中学生を対象とした、楽器演奏指導を含めたセミナーを、8月23日と30日の2日間にわたり行った。

#### (イ) 一般成人を対象とした「おもしろオーケストラ教室」

《第3期》平成19年2月10日・14日・16日、3月10日・31日

響敏也氏を講師に迎え、ベートーヴェンをテーマに、一般成人を対象としたレクチャーを行った。

なお、11月14日には、公開リハーサル、レクチャー、公演鑑賞をセットにした縮小版を箕面市文化振興事業団と共催で実施した。

## ⑤ 収入増加のための取組み

大阪センチュリー交響楽団の活動に賛同していただける個人、法人からの寄附の獲得に積極的に取り組んだ結果、464万円の協賛金収入を得た。

自主公演における演奏曲目などに工夫を凝らし定期会員の獲得に努め、また、独自企画パッケージの制作や周年を迎える企業・学校・市町村への営業活動を強化して依頼公演の獲得に努めるとともに、平成18年4月以降の依頼公演成約分から演奏料を引き上げた結果、楽団事業収入は、前年度に比べ、約150万円増の、約1億9,383万円となった。

さらに、日本芸術文化振興会から、定期演奏会に対し2,500万円の助成金を得るとともに、文化庁からは、新たに「Touch the Orchestra」と「京都特別演奏会」を対象として計340万円の助成金を得るなど、収入の増加に努めた。

### ※ 交響楽団事業収入実績（15年度～18年度）及び協賛金収入実績（18年度）

単位：千円

区 分	15年度	16年度	17年度	18年度	増減(⑩-⑪)
① 依頼公演収入	143,478	148,380	142,174	145,195	3,021
② チケット販売収入	18,049	20,461	21,831	18,601	▲3,230
定期演奏会 有料入場者数(人)	(11,577)	(11,725)	(12,675)	(12,196)	
シンフォニー定期 総入場者数(人)	(10,984)	(10,728)	(14,316)	(13,997)	
" " 平均入場者数(人)	(1,373)	(1,341)	(1,431)	(1,399)	
" " 入場率(%)	(80.58)	(78.70)	(84.01)	(82.10)	
③ 個人定期会員収入	12,709	8,246	15,402	15,647	245
④ 団体定期会員収入	6,215	5,272	5,000	4,600	▲400
⑤ 放送料収入	6,321	2,508	5,148	5,450	302
⑥ その他収入(CD販売等)	1,342	2,067	2,865	4,340	1,475
合計(①～⑥)	188,114	186,934	192,420	193,833	1,413
⑦ 協賛金収入	—	—	—	4,640	4,640
合計(①～⑦)	188,114	186,934	192,420	198,473	6,053

(注) 定期演奏会回数

平成14年度～16年度 … 12回/年 (いずみホール4回・シンフォニーホール8回)  
 平成17年度～ … 10回/年 (シンフォニーホール10回)

※ 個人定期会員数（シンフォニーホール）

単位：人

区分	座席数	16年度		17年度			18年度			19年度		
		年間	前期	年間	前期	後期	年間	前期	後期	年間	前期	後期
A席	768	231	119	289	76	90	324	50	53	313	48	
B席	420	94	54	123	34	50	132	36	35	154	25	
C席	306	—	—	79	—	—	91	—	—	90	—	
D席	210	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
小計	1,704	325	173	491	110	140	547	86	88	557	73	
年間会員＋前期会員		498		601			633			630		
年間会員＋後期会員		—		631			635					

(注) 年間会員 ・平成16年度は、9月から翌年の3月までの5回公演分  
 ・平成17年度以降は、4月から翌年の3月までの10回公演分

- 平成16年度
  - ・平成16年9月～平成17年3月（5回分）年間会員
  - ・平成16年9月～平成17年3月（5回分）前期会員
- 平成17年度
  - ・平成17年4月～平成18年3月（10回分）年間会員
  - ・平成17年4月～平成17年9月（5回分）前期会員
  - ・平成17年10月～平成18年3月（5回分）後期会員
- 平成18年度
  - ・平成18年4月～平成19年6月（10回分）年間会員
  - ・平成18年4月～平成18年9月（5回分）前期会員
  - ・平成18年9月～平成19年6月（5回分）後期会員

※ 団体定期会員数

	16年度末	17年度末	18年度末	19年5月
団体数	29	34	36	33
加入口数	53	50	46	43

※ 賛助会員数（18年度）

	個人・団体数	寄付金口数
賛助会員(個人)	16	17
賛助会員(団体)	23	43

※ その他会員数

単位：人

会 員 名	16年度末	17年度末	18年度末	19年5月
メイト（一般）	948	1,080	1,204	1,228
シニア（65歳以上）	473	607	667	685
フレンドシップ（学生・障害者）	140	158	184	183
計	1,561	1,845	2,055	2,096

(注) ●メイト …A席・B席・C席のチケットを定価の10%割引  
 ●シニア …A席・B席・C席のチケットを定価の1,000円引き  
 ●フレンドシップ…A席・B席・C席のチケットを定価の1,000円引き

## ⑥ 支出削減のための取組み

楽員給与の据え置き、事務局職員の地域手当の支給停止の継続など、人件費の抑制に努めるとともに、事務事業を精査し、各種経費の節減を図った。

## ⑦ その他の取組み

自主公演会場において、ジャワ島地震被災者救援のための募金活動を行い、寄せられた募金を、日本赤十字社を通じ、被災地に寄附した。

### (2) 府民芸能・芸術鑑賞会事業（半額鑑賞会）

芸能・芸術愛好家のすそ野の拡大を図るため、大阪府及び(社)日本演劇興行協会の協力を得て、優れた舞台公演のS席または1等席入場券を通常料金の半額で府民に提供した。

平成18年度結果（第85回～第90回）

実施劇場	応募席数	当選席数	募集回数
新歌舞伎座 大阪松竹座 京都南座 国立文楽劇場	(葉書 68,038 通) 124,286席	71,655席 (うち確定 52,768席)	年6回



### (3) 文化施設の管理運営事業

#### (1) オーケストラハウスの管理

大阪府からオーケストラハウスを賃借し、センチュリー交響楽団の練習場、財団の事務所及び音楽サロンとして適正に管理した。

#### (2) 服部緑地野外音楽堂の管理

服部緑地野外音楽堂は用途も幅広く、比較的低廉な使用料金のため、ジャズ、ロック、和太鼓など様々なジャンルで利用されている。この施設の管理を（財）大阪府公園協会から受託し、その適正な執行に努めた。

○平成18年度の利用状況—《開館日数304日》

- ・ 野外ステージ利用団体数 延べ 53 団体
- ・ リハーサル室利用団体数 延べ 452 団体

#### ◀ 服部緑地野外音楽堂 概要 ▶

構造・規模	鉄筋コンクリート(大屋根鉄筋骨造) 地上2階			
延べ床面積	約1,487㎡(うち2階330㎡)			
ステージ面積	276㎡(最大間口28m)(最大奥行13m)(最大高さ13m)			
収容人員	2,700人 (内訳) 固定椅子席 1,700人(うちステージ後部席321人) 芝生席 1,000人			
付属施設	リハーサル室	85㎡		
	事務室	27㎡		
	控え室(兼会議用)	62㎡		
	道具置場(26㎡×2)	52㎡		
	楽屋	15㎡		
	ピアノ庫	20㎡		
	調整室	25㎡		
利用時間	午前	午前9時～正午	夜間	午後5時～午後9時
	午後	午後1時～午後5時	全日	午前9時～午後9時
休館日	毎週火曜日及び12月27日～1月5日			